

中国思想中国哲学

授業科目名	授業題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日 講時
中国思想特論Ⅰ	中国中世倫理思想史	2	齋藤 智寛	1	水曜4限
中国思想特論Ⅱ	明代儒教思想の研究—陽明学・科举・書院—	2	講師(非)	2	集中講義
中国思想史総合演習Ⅰ	中国思想研究上の諸問題 1	2	齋藤 智寛	1	金曜5限
中国思想史総合演習Ⅱ	中国思想研究上の諸問題 2	2	齋藤 智寛	2	金曜5限
中国思想文献研究演習Ⅰ	中国経学文献研究	2	齋藤 智寛	1	月曜2限
中国思想文献研究演習Ⅱ	中国知識人思想資料研究	2	齋藤 智寛	2	月曜2限

科目名：中国思想特論Ⅰ

曜日・講時：水曜 4 限

セメスター：1 **単位数：**2.00 単位

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM13405, **科目ナンバリング：**LGH-PHI610J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国中世倫理思想史

2・授業の目的と概要：中国中世思想における倫理思想を、思想史の方法により考察、紹介する。扱う話題は、五常や孝といった儒家の徳目をめぐる議論のほか、宗教と倫理、歴史と倫理、医療と倫理などである。

3. 学習の到達目標：中国中世の倫理思想について初歩的な知識と理解を得るとともに、思想史研究の視点・方法を了解する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 導入
2. 魏晋期の倫理思想 1
3. 魏晋期の倫理思想 2
4. 魏晋期の倫理思想 3
5. 南北朝時代の倫理思想 1
6. 南北朝時代の倫理思想 2
7. 南北朝時代の倫理思想 3
8. 隋～唐代前半期の倫理思想
9. 唐代前半期の倫理思想 2
10. 唐代前半期の倫理思想 3
11. 唐代前半期の倫理思想 4
12. 唐代後半期の倫理思想 1
13. 唐代後半期の倫理思想 2
14. 唐代後半期の倫理思想 3
15. 総括

5. 成績評価方法：レポート(100%)

6. 教科書および参考書：参考書を講義の中で紹介する。

7. 授業時間外学習：講義中に紹介された参考書は出来るだけ読むこと。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国思想特論Ⅱ

曜日・講時：集中講義

セメスター：2 単位数：2.00 単位

担当教員：講師（非）

コード：LM98824, 科目ナンバリング：LGH-PHI611J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：明代儒教思想の研究—陽明学・科举・書院—

2・授業の目的と概要：本講義の目的は、陽明学と明代の科举制度、並びに書院制度との関係を考究することを通じて、明代儒教思想の特質を従来の研究とは異なる視点から解説することにある。そして、科举制度・書院制度から、明代の儒教・陽明学を考察するとどういったことが見えてくるのか、また、儒教・陽明学の視点から明代の科举・書院を分析すると何がみえてくるのか、という問題について受講生に考えてもらうことを目指している。講義では、最初に陽明学を中心とする明代思想史を概

3. 学習の到達目標：受講生が、中国近世思想史における明代儒教思想の独自性について興味をもち、明代儒教思想を代表する思想学説である陽明学の成立と発展において、科举制度と書院制度がいかなる影響を与えたのかという問題について理解を深め、明代思想史研究の新たな視点を学び取ることを目標とする。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第一回 はじめに—明代儒教史概観—
- 第二回 明代の科举制度と朱子学
- 第三回 明代の科举制度と経学（1）
- 第四回 明代の科举制度と経学（2）
- 第五回 明代の科举と陽明学（1）
- 第六回 明代の科举と陽明学（2）
- 第七回 明代における書院の盛衰と講学
- 第八回 明代の白鹿洞書院と陽明学
- 第九回 王守仁の思想活動と書院
- 第十回 陽明後学の講学活動と書院（1）
- 第十一回 陽明後学の講学活動と書院（2）
- 第十二回 陽明後学の講学活動と書院（3）
- 第十三回 東林学派の陽明学への対応
- 第十四回 明代思想史における科举制度と書院制度
- 第十五回 まとめの考察

5. 成績評価方法：成績は平常点（20 パーセント）とレポートの内容（80 パーセント）を総合して評価します。

6. 教科書および参考書：教科書はありません。参考書は授業時に紹介します。

7. 授業時間外学習：授業時間外の学修については、授業の中で適宜指示致します。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国思想史総合演習 I

曜日・講時：金曜 5 限

セメスター：1 **単位数：**2.00 単位

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM15501, **科目ナンバリング：**LGH-PHI613J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想研究上の諸問題 1

2・授業の目的と概要：受講者各自が中国思想、哲学についての研究テーマを選択して研究発表を行い、研究水準を向上させるとともに、明晰な表現力、質問に的確に答え、効果的に人を説得する能力も涵養する。さらには、他の受講生の発表への批評を通して、他者の意見を批判的に吟味する機会とする。

3. 学習の到達目標：みずからの研究テーマに関連する学術論文を作成するうえで必要な基礎的技術および能力を向上させる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

第 1 回：顔合わせと趣旨説明

第 2 回：発表と討議（1）

第 3 回：発表と討議（2）

第 4 回：発表と討議（3）

第 5 回：発表と討議（4）

第 6 回：発表と討議（5）

第 7 回：発表と討議（6）

第 8 回：中間まとめ

第 9 回：発表と討議（7）

第 10 回：発表と討議（8）

第 11 回：発表と討議（9）

第 12 回：発表と討議（10）

第 13 回：発表と討議（11）

第 14 回：発表と討議（12）

第 15 回：まとめ

5. 成績評価方法：発表内容（50%）、討論への参加状況（50%）

6. 教科書および参考書：教科書はとくに使用しない。受講者各自が事前に配布した発表資料によって授業をおこなう。

7. 授業時間外学習：報告担当者は、配付資料を前日から 1 時間前には参加者に配付するほか、特定の学術論文を紹介・批評する際には 1 週間前には当該論文を配布すること。ほかの参加者は、配付された資料や論文を読み、授業時における討論の準備を周到におこなう。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国思想史総合演習Ⅱ

曜日・講時：金曜 5 限

セメスター：2 **単位数：**2.00 単位

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM25501, **科目ナンバリング：**LGH-PHI614J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想研究上の諸問題 2

2・授業の目的と概要：前期での発表や討議にもとづいて、受講者各自が、それぞれの研究テーマにもとづく論文の草稿を作成して発表するとともに、受講者全員が、その発表にもとづいて自由に討論する。

3. 学習の到達目標：みずからの研究テーマに関連する学術論文を作成するうえで必要な基礎的技術および能力を向上させる。

4. 授業の内容・方法と進捗予定：

第 1 回：顔合わせと趣旨説明

第 2 回：発表と討議（1）

第 3 回：発表と討議（2）

第 4 回：発表と討議（3）

第 5 回：発表と討議（4）

第 6 回：発表と討議（5）

第 7 回：発表と討議（6）

第 8 回：中間まとめ

第 9 回：発表と討議（7）

第 10 回：発表と討議（8）

第 11 回：発表と討議（9）

第 12 回：発表と討議（10）

第 13 回：発表と討議（11）

第 14 回：発表と討議（12）

第 15 回：まとめ

5. 成績評価方法：発表内容（50%）、討論への参加状況（50%）

6. 教科書および参考書：教科書はとくに使用しない。受講者各自が事前に配布した発表資料によって授業をおこなう。

7. 授業時間外学習：報告担当者は、配付資料を前日から 1 時間前には参加者に配付するほか、特定の学術論文を紹介・批評する際には 1 週間前には当該論文を配布すること。ほかの参加者は、配付された資料や論文を読み、授業時における討論の準備を周到におこなう。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国思想文献研究演習Ⅰ

曜日・講時：月曜 2 限

セメスター：1 **単位数：**2.00 単位

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM11202, **科目ナンバリング：**LGH-PHI615J, **使用言語：**日本語、中国語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国經学文献研究

2・授業の目的と概要：康有為（1858-1927）撰『礼運注』を会読する。中国近代思想の文脈における經書注釈を題材に、中国思想文献の精確な訳注を作成する能力を涵養するのが本演習の目的である。

3. 学習の到達目標：中国思想の原典資料を読解し、精確な日本語訳および思想史的視点からの訳注を作成できる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、導入
- 2、『礼運注』会読 1
- 3、『礼運注』会読 2
- 4、『礼運注』会読 3
- 5、『礼運注』会読 4
- 6、『礼運注』会読 5
- 7、『礼運注』会読 6
- 8、『礼運注』会読 7
- 9、『礼運注』会読 8
- 10、『礼運注』会読 9
- 11、『礼運注』会読 10
- 12、『礼運注』会読 11
- 13、『礼運注』会読 12
- 14、『礼運注』会読 13
- 15、まとめ

5. 成績評価方法：発表と討論での発言状況（100%）

6. 教科書および参考書：教科書は使用せず、教室でプリントを配布する。

7. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国思想文献研究演習Ⅱ

曜日・講時：月曜 2 限

セメスター：2 **単位数：**2.00 単位

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM21202, **科目ナンバリング：**LGH-PHI616J, **使用言語：**日本語、中国語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国知識人思想資料研究

2・授業の目的と概要：梁・蕭統（501-531）の編『文選』より、思想史関連文献を選読する。『文選』本文と六臣注の読解を通して、中国思想文献の精確な訳注を作成する能力を涵養するのが本演習の目的である。

3. 学習の到達目標：中国思想の原典資料を読解し、精確な日本語訳および思想的視点からの訳注を作成できる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、導入
- 2、『文選』会読 1
- 3、『文選』会読 2
- 4、『文選』会読 3
- 5、『文選』会読 4
- 6、『文選』会読 5
- 7、『文選』会読 6
- 8、『文選』会読 7
- 9、『文選』会読 8
- 10、『文選』会読 9
- 11、『文選』会読 10
- 12、『文選』会読 11
- 13、『文選』会読 12
- 14、『文選』会読 13
- 15、まとめ

5. 成績評価方法：発表と討論での発言状況（100%）

6. 教科書および参考書：教科書は使用せず、教室でプリントを配布する。

7. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：